

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物の分別は、市(町村)のマニュアルに沿って厳格に管理及び処分を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社用車の運転日誌を記入する事により、修理などの安全管理を徹底し、別紙簡易計算シートに把握している。 ・現場に向かう際など可能な限り、乗り合わせてガソリン使用の削減に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・本社内及び現場事務所等における適切な冷暖房管理を行い、温室効果ガスの排出抑制に努めている。 ・排気ガスの少ない建機への切り替え計画するとともに、リースの場合は、排出ガス対策機械を手配する。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		特に現場においては、各現場に応じた環境配慮対策を講じた施工を心掛けている。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・裏紙が使用可能な書類はなるべく裏紙を使用する事による資源の有効利用を図っている。 ・飲料はペットボトルなどのごみを出さないように各自水筒持参している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		現場で発生する汚水や汚泥は適切な処理をして排出を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		物品の購入にあたっては、グリーン購入やリサイクル製品の優先的な購入を実施している。											9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		事務所敷地内の余裕スペースにおいては、芝針などの緑化を進めている。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・事務所の屋根に太陽光を設置し利用している。 ・社内用ハイブリット車導入を進めている。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		熊本港親水緑地公園 清掃活動 ・令和4年11月18日 ・令和5年10月24日 ・令和6年11月12日(計3回) 有明海クリーンアップ作戦 奉仕活動(令和4年8月20日)他毎年8月参加 緑川河口中州ヨシ焼き事業 奉仕活動 令和5年3月13~16日(毎年3月中旬参加)													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		現場に向かう際には、可能な限り複数人の効率的な運用を行っている。											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

